平成25年度事務事業評価シート	該当事業（評価対象外事業は基本情報のみ記載）		
	一般事務	公共建設事業	評価対象外事業

事務事業名	商工関係団体負担金等交付事業
予算科目	7 款　1 項　1 目
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 0
所管課情報	担当課：　商工観光課　電話番号（内線）：　0
記入者情報	所属長：　米湊 誠二　担当責任者：　大谷 基文
事業の性格	法定事務
実施期間	【開始年度】 平成　年度　【開始年度】設定なし
事業の対象	広域産業団体等
根拠法令等	
事業の目的	広域産業団体等との情報交換や連携を図る。
事業の内容	広域産業団体等との情報交換や連携を図るため負担金を納める。
改善策の具体的取り組み（当初）	
改善策の具体的取り組み	

事業費及び財源内訳

項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	220	220	170	220
	人件費	399	406	203	406
	合計	0	626	373	626
人件費内訳	人工数	0.05	0.05	0.03	0.05
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	399	406	203	406
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	619	626	373	626

事業活動の実績（活動指標）

項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績

向こう5年間の直接事業費の推移

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	220	220	220	220	220	1,100

成果指標				
成果指標	0			
指標設定の考え方	0			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目　標	0	0	0	0
実　績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	広域産業関係団体等への負担金であるため、今後も連携強化を推進する。			

一次評価				
一次評価（所属長）	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	広域もしくは、県内組織間での情報の共有化をはじめ、連携強化を図り県内外への情報の発信及び収集を行い、本市の関係機関等の活性化のために継続が必要と思われる。			

二次評価	
二次評価（所属部長）	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申	
外部評価 （行政評価委員会）	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	